

県内景況は、持ち直しの動きに足踏みが見られる

新型コロナ「オミクロン株」感染拡大により、今後の景気低迷懸念

～景況 DI 値は、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス34.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 12月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス5.2。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比21.1ポイント上昇のマイナス36.8。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のプラス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のプラス26.3。非製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のプラス5.3、前年同月比21.1ポイント上昇のプラス21.1。

収益状況 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比15.9ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比42.0ポイント低下のマイナス21.0、前年同月比21.1ポイント低下のマイナス57.9。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス31.5。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のプラス10.5、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス5.3。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス15.8。

景況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比4.7ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス36.9。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス34.2となった。製造業の一般食料品、繊維工業、木材・木製品、生コン、金属製品関連で原材料価格が値上がりしており、価格転嫁が困難な状況が続いている。非製造業では、12月は新型コロナ感染が落ち着きつつあり、卸売業、小売業では年末年始の需要もあり持ち直しの動きとなったが、運輸業では原油価格高騰に加え、ディーゼル車に必要な尿素水（アドブルー）も値上がりしており厳しい状況。県内景況は、持ち直しの動きに足踏みが見られ、足元では新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」が感染拡大しつつあり、今後の景気低迷が懸念される。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

12月の全国倒産は、件数501件で、12月としては2000年以降最小。負債総額は975億5,900万円（負債総額1,000万円以上）で、2カ月連続の前年同月比減少となった。不況型倒産の合計は380件で、7カ月連続で前年同月を下回った。構成比は75.8%を占める。

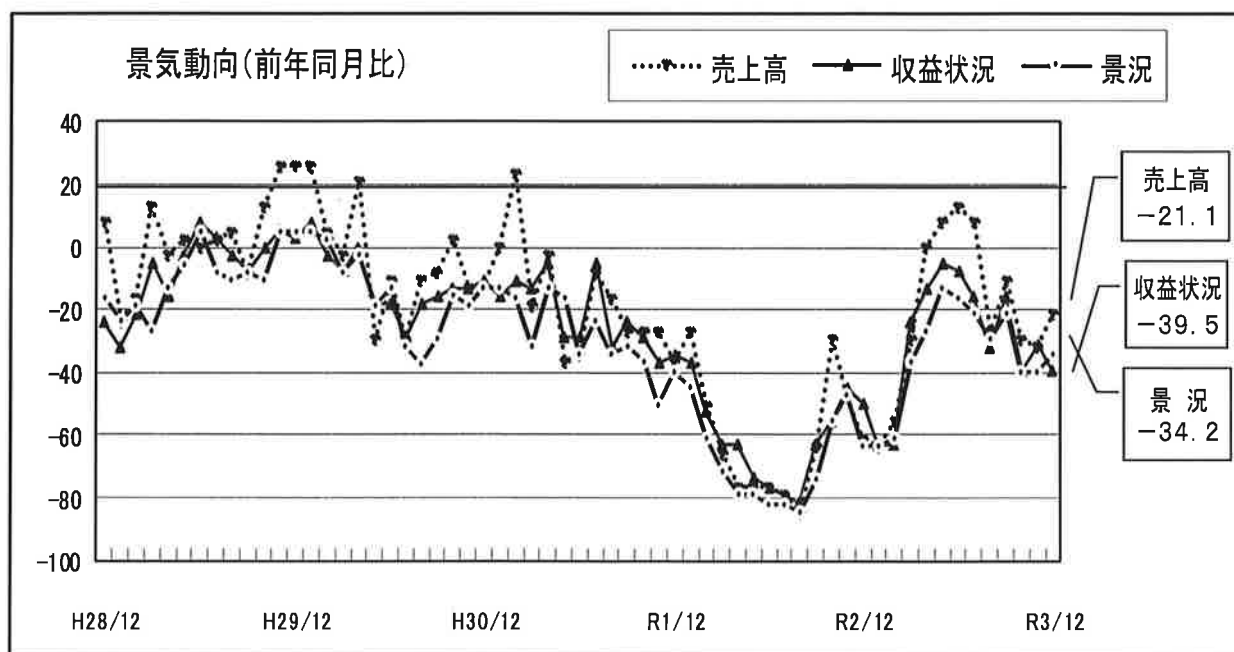
一方、12月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月1件）、負債総額は0円（前月5,600万円）で、4カ月ぶりに倒産件数が0件となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報11月分」）

鳥取県の11月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.35倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.15倍）で、前月と同水準。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.35倍、米子所1.52倍、倉吉所1.70倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.49倍（季節調整値）で、前月と同水準となった。

新規求人数は、前年同月比17.3%増加し、有効求人数は11.4%の増加となった。産業別に前年同月で比較すると、製造業（70.9%）、サービス業（36.4%）、宿泊業・飲食サービス業（34.5%）、運輸業・郵便業（18.8%）、公務・その他（14.0%）、建設業（10.5%）でほとんどの業種で増加した。

新規求職者数は、前年同月比11.4%増加し、有効求職者数は0.9%減少した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.38倍で、前年同月を0.03ポイント上回った。新規求人数は前年同月を5.4%上回った。



12月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	31.6%	-10.5 -5.3	36.8%	42.1%	-5.3 -21.1	28.9%	36.8%	-7.9 -13.2
(2) 在庫数量	21.1%	10.5%	10.6 0.1	16.7%	8.3%	8.4 16.8	19.4%	9.7%	9.7 9.7
(3) 販売価格	10.5%	0.0%	10.5 -5.3	15.8%	10.5%	5.3 -5.3	13.2%	5.3%	7.9 -5.2
(4) 取引条件	5.3%	0.0%	5.3 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	2.6%	5.3%	-2.7 -2.7
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	15.8%	36.8%	-21.0 -42.0	10.5%	28.9%	-18.4 -21.0
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	26.3%	-26.3 -21.0	0.0%	18.4%	-18.4 -10.5
(7) 設備操業度	10.5%	15.8%	-5.3 0.0						
(8) 雇用人員	10.5%	0.0%	10.5 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 5.2	5.3%	7.9%	-2.6 2.7
(9) 景 況	10.5%	15.8%	-5.3 5.3	5.3%	31.6%	-26.3 -15.8	7.9%	23.7%	-15.8 -5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	36.8%	-5.2 0.1	21.1%	57.9%	-36.8 21.1	26.3%	47.4%	-21.1 10.5
(2) 在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 5.3	8.3%	25.0%	-16.7 0.0	12.9%	16.1%	-3.2 3.2
(3) 販売価格	26.3%	0.0%	26.3 -5.3	31.6%	10.5%	21.1 21.1	28.9%	5.3%	23.6 7.8
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	2.6%	13.2%	-10.6 -2.7
(5) 収益状況	10.5%	52.6%	-42.1 -15.9	10.5%	47.4%	-57.9 -21.1	10.5%	50.0%	-39.5 -8.0
(6) 資金繰り	5.3%	21.1%	-15.8 5.2	5.3%	36.8%	-31.5 0.0	5.3%	28.9%	-23.6 2.7
(7) 設備操業度	21.1%	26.3%	-5.2 -5.2						
(8) 雇用人員	15.8%	10.5%	5.3 5.3	0.0%	15.8%	-15.8 10.5	7.9%	13.2%	-5.3 7.8
(9) 景 況	10.5%	42.1%	-31.6 -4.7	10.5%	47.4%	-36.9 5.2	10.5%	44.7%	-34.2 5.3

*D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原料（小麦粉、油脂類）や燃料（LP ガス、電気代等）の大幅な値上がりにより収益が圧迫されている。売上は回復基調にあるが、新型コロナ変異株「オミクロン株」の感染拡大が懸念される。

醬 油⇒ スーパー等の量販店は昨年並みに回復しているが、旅館や飲食店等の業務用が昨年より落ち込んでおり、依然として厳しい状況が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、繁忙期となり仕事量は確保できている。製造単価は上がっている。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内では自動車の製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ 依然として工場操業度は低く、雇用調整助成金申請が必要な状況で推移している。一部の商品（学販スクール向け、レディースボトムなど）で納期遅れの発生の恐れがある。来年春物・夏物商品の受注状況は、不透明、不安定な状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 東南アジア諸国の新型コロナによるロックダウンの影響で、商品等が入荷しない若しくは遅れが出ている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で僅かに増加。製材品の生産量は前月比で不変。合板の生産量も不変。杉材の原木価格が高止まりで冬場の在庫手当ても難しい。しばらくはこの状況が続くと予想され、製材品への価格転嫁も検討せざるを得ない状況。プレカット加工の稼働率は、前月比で20%減少、前年同月比で25%減少。

【紙・加工品】

和 紙⇒ コロナ禍の影響で業績が悪化しはじめて2年となり、ピーク時の1年前と比べると、非常に緩やかにではあるが、回復の傾向にある。原油や製紙原料等が高騰しており、経営に及ぼす影響が危惧される。

【印 刷】

⇒ 市場は明るい方向へ向かっている兆しがあり、年末年始の需要拡大と、年度末に向けた準備は例年並みとなっている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 12月の生コン出荷量は、前月比4%増加、前年同月比17%増加。コロナ禍の中で、民間投資意欲が下がりつつある。公共投資は益明けより改善がみられたが、秋以降新規物件の発注は少ない。民間設備投資はマンションや工場関係工事はあるが、数量を押し上げるほどにない。各地区ともに大型プロジェクト事業が少なく、需要が伸びなく厳しい。セメントの値上げが、各メーカーで1月以降2,000円～2,400円

／トンの動きがあり、さらに軽油の値上がりでダンプの運賃値上げとミキサー車による大幅なコスト上昇で、生コン販売価格の検討が急務となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、仕事量を確保しているが、春以降の物件がみえていない。鋼材の値上がりで、一部品種によっては極端な品薄が続いている。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注や引合いが増えているが、半導体不足に加え、アジアの新型コロナ感染拡大により、部品供給の確保が難しく、操業への影響が懸念される。

鉄骨加工⇒ 鋼板、コラムなどの資材単価と溶材など消耗品の高騰の影響を大きく受けており収益悪化が懸念される。大型物件に採用されるBCP（冷間プレス成形角形鋼管）など大型コラムの納期が13カ月～15カ月と更に納期が長期化し、物流倉庫などは純S造からRC柱やPC柱との混構造などに変更される物件も散見され始めた。

金属熱処理⇒ 12月の受注状況は前月比で約5%、前年同月比で約12%減少となった。長期間好調であった自動車部品の加工が減少したことに加えて、昨年好調であったエネルギー関係の部品が低調のままであることによる。今後の見通しについては、自動車部品の加工が若干増加するとみられるが、昨年ほどの受注は見込めない。

【電気機械器具】

⇒ 受注は増加傾向にある。部材調達の影響は少し緩和されたが先行き不透明。人員不足はさらに厳しさを増している。海外生産から国内回帰の傾向もあるが期間限定になる可能性がある。受注は堅調だが原価コスト上昇と人員不足による生産効率の問題で利益確保が難しい。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 全般に年末商戦もあり回復傾向にある。青果関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。コロナ禍により生活環境が変化している。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに増加。オミクロン株の感染拡大が懸念される。

中部地区⇒ 12月は新型コロナ感染も落ち着きつつあり、市場は平静を保っていたのでコロナ対策用品の売上は一服感。業績は持ち直しつつある。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。一部でウッドショックの影響が見受けられる。また半導体不足による電化製品、PC等の物流の懸念がある。

水産物⇒ 巻き網漁は時化が多く、操業日数は月半分以下となった。例年水揚げされるブリ類の水揚げも単発に終わり総水揚量は3年続けて10万トンを超える結果となった。近海物は時化に加え底引き網漁が不漁であり、例年の倍以上となった松葉ガニを除けば商材が乏しい月となった。紅ズワ

イガニは松葉ガニの高騰により代用として需要が高まり本来加工に向けるサイズも姿売りにまわり近年にない高値で推移した。

リサイクル原料⇒ 12月の国内鉄スクラップ相場は、前月と変わらず推移したが、電炉メーカーの入荷が好転している事から1月からは軟調な推移が続く見通し。古紙市況は不変。非鉄金属市況は、国内アルミが海外アルミ市況の急落により10月末に比べ30円近く値下がりした。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、12月に入り駅周辺の飲食店も徐々に賑わいを取り戻した。今年はカニの価格が高騰し、贈答用も高くなっている。飲食店が動き始めると野菜類、魚介類の仕入れが発生するため、青果店は少し上向き傾向。宿泊関連は、週末は満室となっている。平日も観光客、ビジネス客を含めて稼働率は上がっている。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、経済活動が上向きに転じている。オミクロン株の感染状況によっては、集客を期待したイベントを考え直さなければならぬ事態。「がんばろう！商店街」のプロジェクトも期限が伸びたが、もう少し状況を判断して次に備えたい。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、12月4日～19日まで恒例の「歳の市」が本通り商店街・元町サンロードで開催され賑わいをみせた。ショッピングセンター「ホープタウン」が令和4年1月末で閉店することとなり、中心市街地のみならず郊外大型商業施設でも衰退化を避けられない現状にある。

境港市の水産物小売は、年末に向け正月用の商品を買求める来場者で小売店舗は賑わいをみせたが、31日は陳列台も空間が見られる店舗がほとんどで例年より早仕舞する店も目立った。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、新型コロナ感染が落ち着いているものの、観光客は戻らず一般観光客、団体カニツアー客ともに低調で推移した。売上高は前月比、前年同月比ともに大幅に減少、収益状況は厳しい。

米子市のホテル・旅館では、新型コロナの影響もあり自粛ムードにあることから、宿泊数は減少し、前月比で売上高は減少、収益状況も悪化した。前年同月比では、昨年はGoToトラベルの効果があったため、売上高は減少している。業界全体では、各種仕入単価の上昇（特にカニの異常な高騰）や人手不足により稼働状況は不十分であり景況は悪化している。#WeLove山陰キャンペーンの実施により辛うじて維持している。

三朝温泉では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。コロナ禍の影響で稼働率は約80%程度となっている。

羽合温泉では、新型コロナ感染が落ち着き、また#WeLove山陰キャンペーンを利用する県内外の宿泊客が増加傾向にあるため思ったほどの落ち込みはなく、GoToトラベルのあった昨年にほぼ近い人数の宿泊利用となった。1月以降の宿泊については、GoToトラベル再開見送りで先行きは不透明。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は、普通車が前月比で微増、軽自動車は大幅な減少となった。全数では1,799台となり、前月比で約8%減、前年同月比は約15%減となった。継続検査（車検）台数（軽自動車を含む）は13,350台で、前月比で約7%減、前年同月比は約2%減、中古車（軽自動車を含む）は587台で、前月比で約10%減、前年同月比は約7%減となった。新車が供給されないことから中古車の供給不足が発生している。

【建設業】

⇒ 11月の県内公共工事発注（西日本建設業保証（株）保証取扱）は、請負金額43億円（前年同月比25%増）、件数113件（前年同月同数）で、年度累計（令和3年4月～11月）は、請負金額772億円（前年同月比3%減）、件数1,305件（同8%減）となった。単月で増加、年度累計のマイナス幅も縮小。設備投資、住宅建設ともに単月、3カ月平均ともに前年比プラスが続く。木材・鉄鋼などの資材価格上昇や給湯器などの住宅設備機器の納品遅れ・欠品の影響が続くも、災害復旧などの公共工事や民間設備の持ち直しが下支えしている。

11月の鳥取県新設住宅着工戸数は257戸（持家182戸、貸家75戸）で、前月比12%増、前年同月比31%増となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 12月の物流は、製造業の物量は相対的に横ばいで推移し、農産物の出荷量は低調となった。復路荷物の情報は前月より増加し、成約率も増えたものの非効率な運行も多く厳しい状況は続いている。またディーゼル車に必要なアドブルー（尿素水）の供給が不足しており、調達が難しく運行に支障をきたしている。売上高は前月比で微増、前年同月比で減少。アドブルーの異常な値上がりで、燃料価格も引き続き高値が続き収益状況は厳しい。

西部地区⇒ 年末年始の季節需要は飲料、食品などを中心に製造業などの荷動きも増加、コロナ禍以前に戻りつつある。原油価格は一時3.14ドル急落したが、OPECプラスが石油市場の状況に応じて生産量を調整する姿勢を示したことで一転上昇に転じている。人手不足による様々な制約なども続きそうで、景気回復に影を落とすことも予想される。トラックの排気ガス対策の要であるアドブルーの価格上昇もあり、軽油と尿素水のダブル値上げで経営に与える影響は大きく景況は見通せない。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・更に手厚い支援をお願いしたい。【商店街】
- ・がんばろう！商店街事業への支援。【商店街】
- ・中小企業の弾力的な継続支援。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	-10.5	-47.3	5.2	31.6	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	0.0
	非製造業	-10.5	-68.4	5.3	26.3	0.0	-10.5	-5.2	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8	-5.3	5.2
	全業種	-10.5	-57.9	5.3	29.0	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	-21.1	7.9	0.0	5.3	-7.9	2.6
在庫数量	製造業	-10.5	5.2	0.0	5.2	10.6	5.3	15.8	10.5	-5.2	5.3	10.5	10.5	10.6	21.1
	非製造業	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	-8.4	8.4	-8.4	0.0	-8.4	8.4	8.4
	全業種	-6.4	-3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	16.1	3.2	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1
販売価格	製造業	0.0	10.5	0.0	26.3	21.1	10.5	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	10.5
	非製造業	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3	10.6	5.3	-5.3
	全業種	5.3	-5.3	-7.9	7.9	5.3	10.6	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	13.1	7.9	2.6
取引条件	製造業	0.0	0.0	-10.6	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	5.3
	非製造業	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5
	全業種	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	0.0	2.7	-2.7	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-2.7
収益状況	製造業	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-10.6
	非製造業	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-15.7
	全業種	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-13.2
資金繰り	製造業	0.0	-21.1	-5.3	10.5	10.2	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5
	非製造業	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-10.5
	全業種	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-10.5
設備操業度	製造業	0.0	-42.1	-42.1	21.0	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雇用人員	製造業	5.3	-5.3	5.3	10.5	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0
	非製造業	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.2	21.0
	全業種	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	5.4	13.3
景 況	製造業	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	10.5
	非製造業	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-10.5
	全業種	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	0.0

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
売上高	製造業	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	-10.5	5.2	0.0	0.0	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	68.4
	非製造業	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5	10.6	26.3	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	10.6
	全業種	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	0.0	7.9	13.2	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	39.5
在庫数量	製造業	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	10.6	10.5	10.5	5.3	-15.8	5.3	5.2	0.0	5.3	26.4
	非製造業	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.4
	全業種	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	3.3	0.0	6.4	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	12.9
販売価格	製造業	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	10.5	5.2	21.0	21.0	15.8	26.3	15.8	31.6	26.3	47.3
	非製造業	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	26.4
	全業種	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	-2.6	-5.3	7.9	7.9	0.0	13.2	7.9	15.8	23.6	36.8
取引条件	製造業	-5.3	0.0	-5.3	0.0	10.5	10.5	10.5	10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	0.1
	非製造業	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	0.0
	全業種	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	0.0	0.0	0.0	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-0.1
収益状況	製造業	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	15.8
	非製造業	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-15.8
	全業種	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	10.5
資金繰り	製造業	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	10.5
	非製造業	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	10.6
	全業種	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	10.6
設備操業度	製造業	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	0.0	-5.2	36.9
雇用人員	製造業	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	5.3	21.1
	非製造業	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	15.8
	全業種	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	18.4
景況	製造業	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	42.1
	非製造業	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	15.7
	全業種	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	29.0

情報連絡員報告総括表(令和3年12月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	繊維工業	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1
	木材・木製品	0	1	3	1	3	0	0	4	0	0	2	2	0	3	1	0	2	2	1	0	2	1	3	0	0	2	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0
製造業	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
	鉄鋼・金属	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
	一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
非製造業	輸送用機器																											
	その他																											
	19	4	9	6	4	13	2	2	17	0	1	18	0	1	14	4	0	17	2	2	14	3	2	17	0	2	14	3
	100%	21.1%	47.4%	31.6%	21.1%	68.4%	10.5%	89.5%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	73.7%	15.8%	10.5%	89.5%	0.0%	10.5%	73.7%	15.8%	15.8%
	卸売業	4	2	0	1	5	0	2	4	0	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	1	5	0
非製造業	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	商店街	1	1	2	1	2	1	1	2	1	0	3	1	1	1	2	0	2	2				0	3	1	0	2	2
	サービス業	0	0	5				0	4	1	0	4	1	0	1	4	0	3	2				0	3	2	0	2	3
	建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	1	1	0				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																												
	19	7	4	8	2	8	1	3	14	2	0	17	2	3	9	7	0	14	5				0	16	3	1	12	6
その他	100%	36.8%	21.1%	42.1%	16.7%	66.7%	8.3%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	47.4%	36.8%	0.0%	73.7%	26.3%				0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	63.2%	31.6%
	38	11	13	14	6	21	3	5	31	2	1	35	2	4	23	11	0	31	7	2	14	3	2	33	3	3	26	9
その他	100%	28.9%	34.2%	36.8%	19.4%	67.7%	9.7%	13.2%	81.6%	5.3%	2.6%	92.1%	5.3%	10.5%	60.5%	28.9%	0.0%	81.6%	18.4%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	86.8%	7.9%	68.4%	23.7%	

情報連絡員報告総括表（令和3年12月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	1	0	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	3	
	木材・木製品	0	1	3	0	4	0	1	3	0	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	2	2	1	3	0	0	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	0	
	化学ゴム																											
業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
	輸送用機器																											
	その他																											
非製造業	卸売業	3	1	2	0	4	2	3	3	0	0	6	0	1	4	1	1	5	0				0	6	0	2	4	0
	小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
	商店街	1	1	2	1	2	1	1	2	1	0	2	2	1	1	2	0	2	2				0	3	1	0	2	2
	サービス業	0	1	4				1	3	1	0	4	1	0	2	3	0	2	3				0	4	1	0	2	3
	建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1
	運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	0	2
業	その他																											
	19	4	4	11	1	7	3	6	11	2	0	16	3	2	8	9	1	11	7				0	16	3	2	8	9
	100%	21.1%	21.1%	57.9%	8.3%	58.3%	25.0%	31.6%	57.9%	10.5%	0.0%	84.2%	15.8%	10.5%	42.1%	47.4%	5.3%	57.9%	36.8%				0.0%	84.2%	15.8%	10.5%	42.1%	47.4%
	38	10	10	18	4	21	5	11	25	2	1	32	5	4	15	19	2	25	11	4	10	5	3	30	5	4	17	17
	100%	26.3%	26.3%	47.4%	12.9%	67.7%	16.1%	28.9%	65.8%	5.3%	2.6%	84.2%	13.2%	10.5%	39.5%	50.0%	5.3%	65.8%	28.9%	21.1%	52.6%	26.3%	7.9%	78.9%	13.2%	10.5%	44.7%	44.7%